

新盛里山耕流塾

NEWS もりの里 4月号

新盛里山耕流塾も3年目となり、気持ちも新たに平成22年度の講座がスタートしました。

里山ならではの発見や体験を活かした講座を用意して、多くのみなさまとの新たな出会いをお待ちしています。

ご意見・ご感想はこちらへ
足助支所地域振興担当 松原、山田
TEL:(0565)-62-0601

E-mail:
asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp

発行:足助支所 発行日:平成22年5月1日

4月の里山耕流塾は、内容盛りだくさん。「市民農園」や「旬裁食」の開講に加え、今年度より新たに「自然農」講座やトヨタ労組との交流事業がスタート！

自然農

種降ろしの巻

今年度より新たに「自然農」を体験する講座を開講しました。
(4月3日、4日)



多くの参加者が直接指導を受けました

講演会の翌日、川口先生の指導のもと、自然農の考え方に基づく苗づくりに取り組みました。肥料や農薬を使用しないだけでなく、農地を耕さないといった独自の農法は、受講生のみならず主催者にとっても興味深いものでした。

自然農講座の開講に先立ち、この農法を30年来実践してきた川口由一氏を講師にお招きし、講演会を実施しました。会場は立ち見も出る盛況ぶりで、参加者は熱心に講師の話を聞き入っていました。



バイオガス講座

先月に引き続き、バイオガスを発生させるプラントの基礎工事や、建築に必要な柱の伐採や加工などを行いました。



伐採した丸太を加工します



もりの里☆市民農園

規模を拡充して今年度も市民農園が開講しました。(4月11日)



4月11日(日)市民農園の開耕式が行われました。今年度からは、田んぼが11区画、畑を15区画と面積を拡大して、合計22世帯の受講生が農作業にチャレンジします。実りの秋を目指して、さっそくジャガイモなどの植え付け作業に汗を流しました。

旬裁食

里山の春を楽しむ の巻

今年も「旬裁食」がスタートしました！
(4月18日)

朝9時より開耕式が行われました。初めての顔合わせということで、皆さん少し緊張した雰囲気でした。

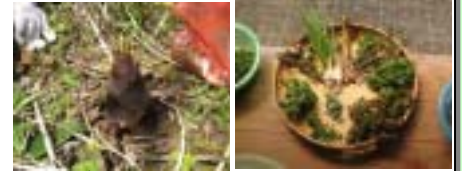
開耕式終了後、各班に分かれて行われた山菜採りでは、みな真剣なまなざしで、宝探し気分を楽しみました。

採取した山菜は、天ぷらなど調理して試食し、里山の春を堪能した一日となりました。



試食した旬の食材

当日試食した食材は、次のようなものです。山里ならではの薫り豊かな春の食材です。



たけのこ

ノビルやヨモギなど



トヨタ労組との交流事業



総勢約70人が参加しました



青空の下、いい汗をかきました

今年度より新たな取り組みとしてトヨタ労組を迎え、農業体験講座を開講します。(4月25日)

トヨタ自動車労働組合の組合員やその家族を対象に、休耕田を活用した農業体験講座が始まりました。この催しは、定年後の生きがいづくりや社会貢献を考えるきっかけとしてトヨタ労組が企画したものです。

「とよた都市農山村ネットワーク」とともに新盛里山耕流塾が指導にあたります。秋の収穫まで、全4回の講座を予定しています。



トラクターにも挑戦！



畦もつくりました

受講生の感想

子供と一緒に農業を体験できることがよい。(農業体験講座)
竹の子をとったのは初めてで、楽しかった。(旬裁食)
間伐作業は初めてで、樹木の伐採は迫力があつた(バイオガス)
耕さない・肥料をあたえないという自然農法でどこまでできるのかとても興味深い(自然農)